

—学校の新しい生活様式—



学びを保障・支援するための生活の ポイント及び授業の在り方Q&A

Ver.1

『学校の新しい生活様式』（文部科学省）及び学校再開に向けた
ガイドラインVer.1（埼玉県教育委員会）に基づき作成

コロナ感染症予防のため、日々の生活や授業において様々な悩みや疑問が生じていること
と思います。

このリーフレットでは、そんな悩みや疑問の解消に少しでもお役に立てばと思い、作成した
ものです。ぜひ先生方の授業づくりの参考にしてください。

こんなときどうすればいいの？！



グループ学習やペア学習をさせたいけど・・・。
コロナ感染症が心配だし、何かいい方法はないかしら。



これから暑くなるし、マスクをずっと
していると熱中症も心配だな。
登下校や給食、清掃時等で気を付け
ることってどんなことがあるのかしら。

授業の中で児童生徒を支援するためには
どんなことをすればいいの？

戸田市教育委員会

学務課・教育政策室

令和2年6月12日

アイデア集へGO！

学校の新しい生活様式 生活のポイント

～各家庭の理解と協力を得ながら～

感染症対策のポイント

感染源を絶つ行動

- ◎発熱等の風邪の症状がみられる児童生徒は、自宅で休養（出席停止）
- ◎家庭と連携した健康観察
- ◎学校に入る前の検温 等

3つの徹底

- ◎手洗い
- ◎咳エチケット（マスクの着用）
- ◎校舎内・共有物の消毒 等



規則正しい生活

- ◎十分な睡眠
- ◎適度な運動
- ◎バランスの取れた食事 等

市町村立小中学校・義務教育学校版「学校再開に向けたガイドライン～Ver.1～」
（令和2年5月22日 埼玉県教育委員会）より

マスク着用の留意点

次の3つの場合は、マスクをはずしてもよい

- ① 十分な身体的距離が確保できる場合
- ② 体育の授業
- ③ 熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合

家庭に確認しておくこと

発熱等の風邪の症状がみられる時は登校を控えさせる。

登校前に検温、健康観察、同居家族の健康観察を行う。

登校後に体調が悪くなった場合には速やかに迎えに来てもらう。

規則正しい生活リズムで過ごし、体調を整え、健康管理に努める。

感染が疑われる場合には、学校へ速やかに連絡する。

登下校時のポイント



登下校時のマスクは、暑い時期ははずしてもよい。

熱中症も命に関わる危険があるので、熱中症への対応を優先させる。

周囲に人がいない時はマスクを外してもよい。

登下校中も適宜水分補給をする。

歩きながら水分補給を行わない。他の人の通行の妨げにならないよう気をつける。

歩行時は前後の等間隔を保ち、一列で歩行する。

歩行中の不要な会話を控える。

グループごとに下校時刻を設定するなど、校門や昇降口等で密集が起こらないようにする。

登下校中、密にならないように気をつける

登下校後に石けんによる手洗いを徹底する。

手を拭くタオルやハンカチ等の共有はしない。

休み時間のポイント

廊下や階段での接触や密集を避けるため、右側歩行を徹底する。

会話をするときにはマスクをつける。

必要のない他の教室や他学年のフロアには行かない。

休み時間ごとに教室や廊下等の窓を開放し、十分な換気を行う。

- 熱中症の予防のため、室温に気を付ける。
- 換気の際に、エアコンを停止しない。

外から教室に入るときやトイレの後など、石けんによる手洗いを徹底する。

ソーシャルディスタンスを保ち、密になるような遊び方をしない。

給食時のポイント

配膳前

- 手洗い場の密集を避けつつ、石けんによる手洗い、マスクの着用を徹底する。(班ごとに手洗い場に行くなど)
- 配膳室が密にならないよう入室人数を制限するなどの工夫を行う。(児童生徒が間隔をあけて並ぶために立ち位置をマーキングするなど)

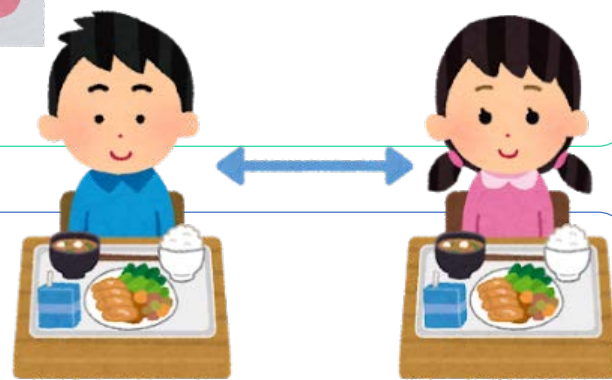
配膳

- マスクを着用した児童生徒が担当する食品を限定して配る。
- おかわりについては、教員または担当した児童生徒が配る。



食事中

- 対面にならないよう指導を徹底する。
- 可能な限り会話を控えるよう指導する。



片付け

- 食器等は密にならないよう各個人で片づける。

清掃時のポイント

清掃場所は必要最低限とし、特に体調不良者が使用したトイレや部屋、密閉となる場所は清掃しない。

マスクを着用し、必要最低限の指示以外の発言はしないで取り組ませる。

可能な範囲で教室等の入り口や窓を開けて行う。

終了後は、石けんによる手洗いをさせる。

清掃は短時間で終了できるように工夫する。

手洗いの6つのタイミング



学校の新しい生活様式 授業のアイデア集



児童生徒の意見を確認したいけど、一度に大勢が発言するのは避けたい。

そんなときは・・・

例えば、ハンドサインや意思表示カードなどを使うと・・・！

児童生徒の達成状況や賛成・反対などを集約するのに有効です。「用意したカードの色」、「グーチョキパー」などで選択肢を提示できますね。



子供たちに話し合いをさせたいのだけれども、どうしても一人一人の距離が密になってしまう・・・。

そんなときは・・・

例えば、Jamboard (G-suite) を活用すると・・・。

Jamboardに、自分の考えを記入し、友達と考えを練り上げることが可能です。Jamboardには写真を貼ることも可能なので、写真を貼り付けてそれにコメントを書いて説明することもできますよ。

他にもオンライン (Classroom、meetなど) を活用しましょう。児童生徒への個別対応が可能です。



付箋を活用し、自分の考えを書き、それを班で回して読むことで友達の様々な考えに気付くことができ、対面で友達と交流するのと同じ効果が期待できます。



児童生徒の近くを回りながら机間指導したり、全体で考えを広げたり、深めたりしたいけど、そのときにどんな方法があるのかな。

そんなときは・・・

例えばロイロ・ノートを活用すると・・・
ロイロ・ノートで一人一人の端末の課題の様子を確認し、コメントを送信して、児童生徒の活動を意味付けたり、価値付けたりすることが可能です。

Chat機能を活用してみると・・・
対話的な活動の最中にChatで教師からのコメントを送信し、児童生徒の活動を意味付けたり、価値付けたりすることが可能です。また、全体で意見を出し合う際には、Chatを活用し、児童生徒の考えを板書で整理していくことも考えられます。



机間指導には指示棒を使用するなど、顔を近づけなくてもよい工夫をしましょう。
その場での対応が難しい場合でも振り返りのワークシートに質問ができるようにしたり、学習状況が把握できるようにしましょう。



児童生徒を集めて、技法の説明をしたいんだけど、どうしても児童生徒同士がいつぱんに集まってしまふな…。

そんなときは…



ICTを活用してみると、

- ・ Classroomやmeetのオンライン上で実演や実技を行う。
- ・ 実物投影機を使用して提示する。
- ・ 関連動画を用意し大型モニターに提示する。
- ・ PC内に関連動画を用意し、自由に視聴しながら制作や活動ができるようにする。

例えば、右のような例が考えられます。



● 事前に動画で技法を撮影しておく。
観察の仕方や、マシンでの製作の手順等を事前に動画で撮影しておき、それを流すことで示範しましょう。音楽において楽器の演奏の仕方のポイントを流し、全体でポイントを確認し、練習や演奏を家庭で行うことも考えられます。



教室で密を避けようとする、児童生徒がずっと座ったままの学習になってしまいそうで心配だな…。

そんなときは…



教室を出てみると、

それぞれの場所で調査をしたり、情報を集めたりする活動を設定することで、より活動的で直感的な学習活動を行うことが可能です。

ロイロ・ノートを活用して、そこで得た情報を共有したり、写真を撮って貼り付けたりして共有する。また、meetを活用してそれぞれの場所の様子を映しながら、その場所で自分が感じたことや考えたことを話すことも考えられます。

例えば、左のような例が考えられます。



—おわりに—

社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない状況のなかで、感染症対策と子供たちの健やかな学びの保障と両立が求められています。感染症対策を講じつつ、学校教育が協働的な学びの中で行われる特質をもつことに鑑み、学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、新学習指導要領の目指す学びを着実に実現していきましょう。

薄れてしまった「心の絆」、冷めてしまった「心の温度」を上げるために・・・

「特別な教科 道徳」

○下のような関連した内容項目の授業を重点的に行う。

《小学校》

- | | |
|------------------------|-------------------|
| A-(5)希望と勇気、努力と強い意志 | B-(10)友情、信頼 |
| C-(13)公正、公平、社会正義 | C-(15)家族愛、家庭生活の充実 |
| C-(16)よりよい学校生活、集団生活の充実 | D-(19)生命の尊さ |

《中学校》

- | | |
|------------------------|-------------------|
| A-(4)希望と勇気、努力と強い意志 | B-(8)友情、信頼 |
| C-(11)公正、公平、社会正義 | C-(14)家族愛、家庭生活の充実 |
| C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実 | D-(19)生命の尊さ |

「特別活動」

- 学級活動(2)イ よりよい人間関係の形成
(題材例)
- ・「友だちのよさを見つけよう」
 - ・「イヤな言葉、うれしい言葉」
 - ・学級会の充実
(望ましい学級や人間関係の構築に向けた話し合い)

その他にも・・・

- ・全児童生徒へのアンケートを生かした教育相談の実施
- ・いじめを起こさせない生徒指導の充実

学習活動の重点化について

【年度当初に編成した教育課程を見直すことが必要な場合の基本的な考え】

学習の効果を最大化できるカリキュラム・マネジメント

学校の授業で行う学習活動を、教師と児童生徒のかかわり合いや児童生徒同士のかかわり合いが特に重要な学習への動機づけや協働学習、学校でしか実施できない実習等に重点化し、個人でも実施可能な学習活動の一部をICT等の活用して授業以外の場で行う。

学校で取り扱うことが望ましい学習活動例

- 様々な事象から、問題を見だし、解決への見通しをもつ活動 (学びの動機付け)
- 互いの意見を交流させたり、話し合ったりすること等、対話的な学び
- 互いの考えを伝え合い、自分の考えや集団の考えを発展させていく学び
- 具体物の操作や、観察・実験などを通じて、理解を深めること

学校の授業以外の場で行うことが考えられる学習活動例

- 学習したことを基に、考えたことや、伝えたいこと等をまとめる活動
- 問題を解決するために必要な情報を、本やWebサイト、身の回りにある自然の事物等から集める活動
- 単元末の問題演習に取り組む
- 発展的な学習の一部に取り組む